2025年プレゼンテーション評価基準

WYM は世界と出会い、世界と動く、共感の場

国による英語の滞空時間は違う。しかし「話し言葉」で想いを伝える訓練は日本でも始まっている。「話し言葉で、友達に語るようにという鉄則」が英語プレゼンテーション。思いを伝え、世界と日常との接点をともにつかもう。

(相手に伝わるプレゼンテーション)

1. 発表内容	2. 伝える工夫	3. 英語と非言	4. チームワー	5. 聴衆の態度
(探究の学び)	(情報の学び)	語(コミュニケ	クと態度(協働	オーディエンス
		ーションの学	の学び)	の礼儀
		び)		
▶ 時に他者と異	> ストーリーが	➤ <mark>聴衆の共感</mark>	▶ 全体のバラン	> うなずきなど
<mark>なる見方を進</mark>	<mark>明確</mark> で発表	<mark>を心がけ</mark> 、難	スがよく、支	で反応してい
<mark>化ととらえ、</mark> さ	の構成がわ	しい語や早口	え合ってい	る
らに深めてい	かりやすい	を避けて話し	る。	▶ わかりやすい
こうとしている	>	ている	➤ 単独の発表	質問ができて
	▶ 意見、体験が	> キーワードや	であっても、	いる
▶ 社会的文脈	<mark>あり、</mark> 引用・	主旨を丁寧	関わった人々	▶ 最後まで集
を意識し、テ	調査結果と	に伝えている	との連携がう	中して聴いて
ーマに沿った	は区別されて		かがえる	いる
結論が明確	いる	シェスチャー		
である		や視線、 <mark>受け</mark>	▶ 言葉を忘れ	
	▶ 言葉での伝	<mark>入れられる発</mark>	<mark>ても、適切に</mark>	
▶ 根拠のデータ	<mark>達を中心に</mark>	<mark>音を</mark> 意識して	<mark>言い換えを行</mark>	
や資料の読	<mark>置きつつ</mark> 、ス	いる	<mark>い、</mark> 落ち着い	
み取りに <mark>自分</mark>	ライドの特性		て発表をおこ	
<mark>の意見を重</mark>	も井笠 r 手か		なった。	
<mark>ね、</mark> 継続的な	されている。			
観察ができて				
いる。				
> 会場 カード審		たの伝えたかったこ		
•5点満点	•5点満点	•5点満点	•5点満点	
できている5	できている5	できている5	できている5	

改善の余地あり	改善の余地あり	改善の余地あり	改善の余地あり
3	3	3	3
	出来ていない1		
出来ていない1		出来ていない	出来ていない
		1	1

評価時の視点(教師メモ)

発表内容:探究の学 びの視点	伝える工夫:情報の 学びの視点	英語・非言語コミュニ ケーション:コミュニ ケーションの学びの 視点	チームワークと態 度:協働の学びの視 点	聴衆の態度 (聴衆の礼儀)
英語を使用したプレる以前に、発表者が、同世代の仲間に伝えたい内容がある。 一大い内容がである。 一大の体がである。 一大の体がである。 一大のでをする。 一大のでをする。 一大のでである。 一大のでである。 一大のでである。 一大のでである。 一大のの報道二 ユー任めが出る。 一点には、ののはは、ののはは、ののはは、では、ののは、では、ののは、ののは、ののは、の	聴衆に対して、 <mark>伝え</mark> る工夫がなされてい る工夫がなされていること。 「構題・課題・理解を が課題・提でで、 問題・地域のの用でで、 はでいる。 は、提覧ので、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	聴衆が非英語圏の 同世代(CEFR A1-B1)であることと非言語コニューケーションの重要性を理解であること - 難語・早口・詰め込みの抑制ができている。 コジェスチャー・アイコンタクトが自然できている。 ポープ・アクセントも意識されている。	チームとしての発表であることが明確であること。 - 話している姿勢表にいる。 - 内容を忘れた際に、別の表現でカバーできる。 - チームで力が発表している 会別できる。 - チームで力が発表である。 - チームでおり、全員が発表の容を把握してい	良い聴衆が良い発表を実現する。 - 相手などっている。 - 相手などっている。 - がきまででない。 - 質察に結びないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
案が受け売りでなく、 チームで検討された ものである。	表が整理され、色使いや表示時間にエ 夫がある。		る。	いる。
できている5	できている5	できている5	できている5	
改善の余地あり 3	改善の余地あり 3	改善の余地あり 3	改善の余地あり 3	
出来ていない1	出来ていな い1	出来ていな い1	出来ていな い1	

Presentation Evaluation Criteria 2025

(Effective and Understandable Presentations)

1. Content (Learning through Inquiry)	2. Expression Techniques (Learning through Information)	3. Verbal and Nonverbal Communication (Learning through Communication)	4. Teamwork and Attitude (Learning through Collaboration)	5. Audience Behavior
✓ Demonstrates a unique perspective and attempts deeper insight	✓ Clear storyline and easy-to-follow structure	✓ Focuses on verbal delivery while effectively using slides	✓ Balanced performance, supportive of each other	✓ Responds with nodding or gestures
✓ Conclusion clearly aligns with the theme	✓ Includes personal experiences and separates them from quotes and data	✓ Avoids difficult words and rapid speech to foster empathy	✓ Even in solo presentations, collaboration with others is evident	✓ Asks clear and thoughtful questions
✓ Combines evidence and data analysis with personal opinions; shows continuous observation	✓ Delivers key messages and keywords carefully	✓ Uses gestures, eye contact, and comprehensible pronunciation	✓ Stays calm, rephrases smoothly when forgetting words	✓ Listens carefully until the end

Venue/Audience Card Scoring:

7 points = "Your message was clearly received."

Category Points

Each Category (1–4) Max 5 points per category

5 points Well done

3 points Needs improvement

1 point Not achieved

2025 Presentation Evaluation Criteria (Teacher Notes)

1. Presentation Content (Exploratory Learning)	2. Delivery and Structure (Information	3. English & Nonverbal Communication	4. Teamwork and Attitude (Collaborative	5. Audience Behavior (Audience Manners)
	Skills)	(Communication Skills)	Learning)	
Before focusing on English, the presenter must have a strong message to share with peers of the same generation.	Presentation should be clearly structured to reach the audience. Many members of the audience are high school students in Asia who are currently learning English.	Presenters should understand that the audience consists of non- native English speakers (CEFR A1-B1) and use nonverbal communication effectively.	It should be clear that this is a team presentation, with everyone contributing.	Understand that good audience behavior helps create good presentations.
The conclusion (core message) is clear and fits the overall theme.	Structure is logical, with a clear problem, discussion, proposal, and conclusion.	Difficult vocabulary, fast speech, and too much information are avoided.	Even when not speaking, team members show active listening; all members participate.	Show interaction and support through nodding or gestures during others' presentations.
The opinions go beyond news-style reporting and include personal and responsible views.	Presenters refer to their country/region, cite multiple sources, and separate research from opinions.	Gestures, eye contact, pronunciation, and accent are used naturally and clearly.	If someone forgets content, they calmly rephrase or the team helps cover smoothly. All members understand the content.	Questions help deepen understanding and are phrased simply.
Unique viewpoints and proposals are discussed by the team—not copied ideas.	Slides are clear with main points, visuals, good color use, and proper timing.			Attentive listening throughout the presentation with no movement during restricted times.

Scoring System for Each Criterion

Each of the five categories above is scored using this 3-point scale:

Score	Description
5 points	Mostly achieved the goal
3 points	Needs more improvement or creativity
1 point	Presentation purpose of WYM is not well understood

参考

- ・インバウンドは迷惑、ごみを出すし、地域の交通網を破壊<――日本の良さを伝える日本文化アンバサダー 人口減少 少子化は、、、、。 <――いい社会への転換期。
- ・ 大学博士課程へ海外学生への支援 研究費支給、生活費支給取りやめ <---当然? 差別? へ--とスピーチ?